

# 能代養護学校版 タブレット型端末（iPad）授業活用事例集③

## 事例1. iPad ビデオ機能の活用事例

授業活用事例集②でも説明したとおり、iPadのカメラ機能は手軽に写真・動画撮影してその場で映像確認できるので、様々な活用方法が考えられます。本校の能代養護学校ミュージカルの練習においても次のように活用しました。

### 授業活用例

高等部 能代養護学校ミュージカル練習（ダンスの振付練習）

使用機器 iPad2mini 1台 無線LANルーター1台（学習系LAN接続）

#### ○活用の目的

iPadで撮影した動画映像を振付確認の教具とすることで、生徒それぞれの苦手な部分の反復練習の一助としたり、練習に臨む意欲を高めたりすることをねらうほか、生徒同士がアドバイスし合ったりアイデアを出し合ったりする主体的な取組のきっかけとなることもねらっています。

#### ○活用場面と具体的な活用方法

振付を担当した先生（外部講師、1回だけの来校指導）の動画をiPadで撮影し、みんなでその場面を見ながら、振付を確認しました。

振付のアレンジを生徒たちで考案する際に、YouTubeのダンス動画を見て、アレンジのヒントとしました。



iPadに保存してある動画で振付をチェック  
画面上のタイムライン（写真が連なっている  
ような部分）をドラッグすれば簡単に見たい場  
を頭出しできる。



参考となるステップを確認した後、実際に音に  
合わせて練習しているところ

#### ○メリット

- ・デジタルカメラと違い、画面が大きく見やすい。テレビに接続しなくとも、必要な時に必要な場面を生徒自身の操作で見ることができるので、実際の振付練習が効率的に行えました。
- ・振付のアレンジのアイデアが必要な時に、生徒自身がその場でインターネットで調べられるという機能の活用が、活動に意欲的に臨んだり、考えを積極的に発言したりといった姿に結びつきました。

#### ▲デメリット

- ・iPadの二つ以上のアプリを使う活動であるため、学習支援機能（一つのアプリしか使えないようにする※授業活用事例集①参照）が使えず、他のアプリに関心が移ってしまう場面がありました。

## 事例2. 数字を書く学習、数唱の学習への活用について

iPadなどのタブレット型端末には、電卓が標準装備されているほか、算数・数学の学習アプリも無料もしくは安価で求められます。本事例は数唱や数字を書く練習をしているAさんと、1～10までの物の数を数える練習をしているBさんの事例です。

### 授業活用例

中学部2、3年 数学 「数を数えよう」

使用機器 iPad2mini 2台

使用アプリ こどもゆびドリル無料版 (NEXTBOOK社)

#### ○活用の目的、活用場面と具体的な活用方法

実態や目標の異なる生徒のいるグループでも、iPadを活用することで、同じ場で異なる学習課題に取り組みやすくなります。数唱や数字を書く練習は単調になりやすかったのですが、AさんはiPadのアプリ「こどもゆびドリル」を活用することで、繰り返して数字を書く練習に意欲的に取り組んでいます。苦手な「3」や「5」の数字も、iPadで練習してから書くと、見本を見なくても一人で正しく書くことができました。

Bさんも同じiPadの「こどもゆびドリル」の操作の仕方を覚えて、一人で学習を進められる場面が増えてきています。「せいかい」の画面が出ると、他の人に嬉しそうに画面を見せて、次の文字へ向かうなど、意欲的に自主的に学習を進める場面が見られます。



数字を書く練習に活用している場面  
指で画面をなぞっています



指でタイルの絵をタップ（押して）  
して10までの具体物と数唱の一致  
を学習しています

#### ○メリット

- 白色に色抜き表示された数字をなぞる操作が簡単で、操作方法のマスターの速さに結び付き、学習意欲が高まり、自発的に課題を進めることができています。
- 正解の表示がアニメーション動画でゆっくり表示されるため、本事例の生徒にとって意欲に結び付いた。

#### ▲デメリット

- 無料版を導入しているが、数字書きは1～5までの練習しかできない。数唱も10までの練習機能しか無いが、有料版は高価で導入できていない。「すうじなぞり」(Neutre社)という安価なアプリを導入したが、絵で模様デザインされた数字が画面に現れる機能だったため、本事例の生徒の学習には活用できず(積極的な学習姿勢に結び付かなかった)、限られた数の学習にとどまっている。

担当：情報図書部